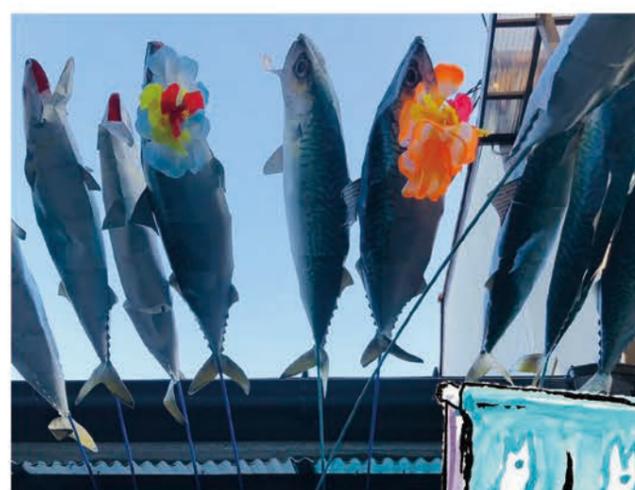


松蔭中学校・高等学校美術部の挑戦

『注文の多いお魚屋さん〜魔廻冥土 (まあめいと) 〜』



神戸・長田でおこなわれる『下町芸術祭 2023 COMMONS HACK』に参加しました。



ドナタモ
遠慮ハイリマセン

☞「アートが日常となる下町」を目指す芸術祭。
神戸の下町エリアを舞台に展開します。

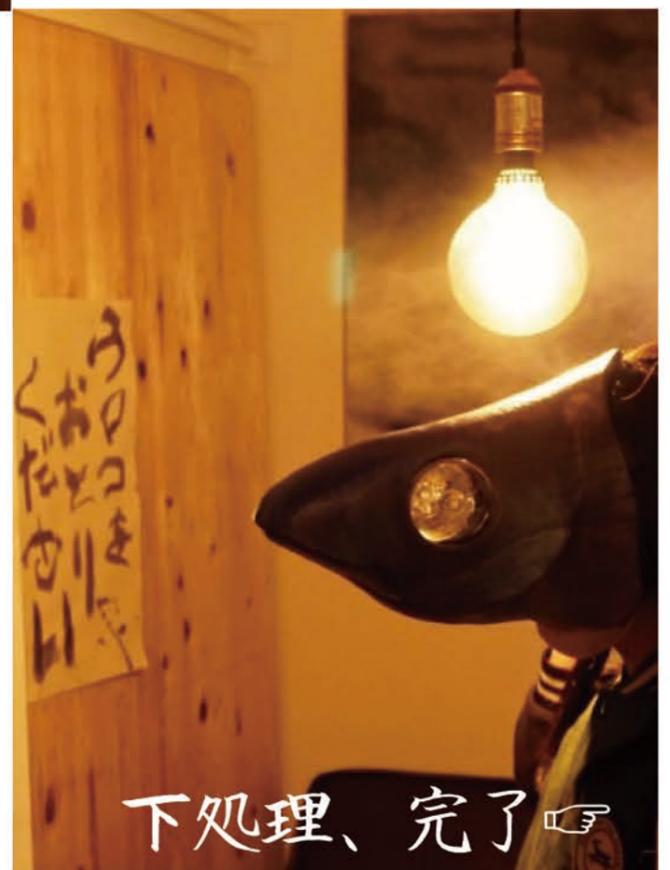
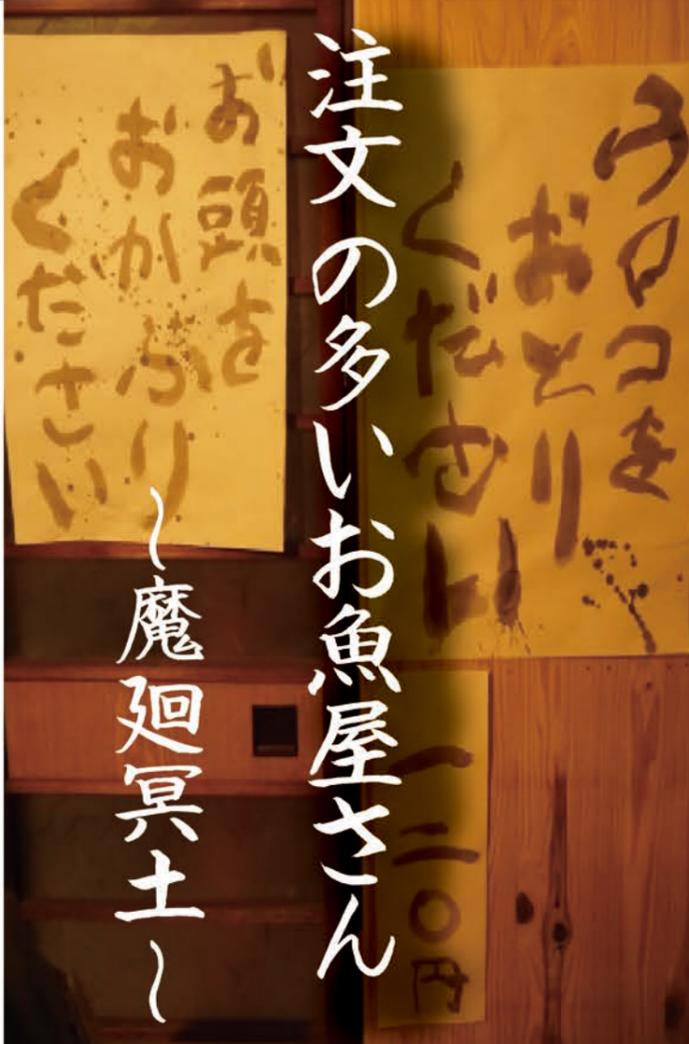


魚ナノデ、喋レマセン。
注文ニ従ッテオ進ミクダサイ。



館内着ニ
オ着替エクダサイ

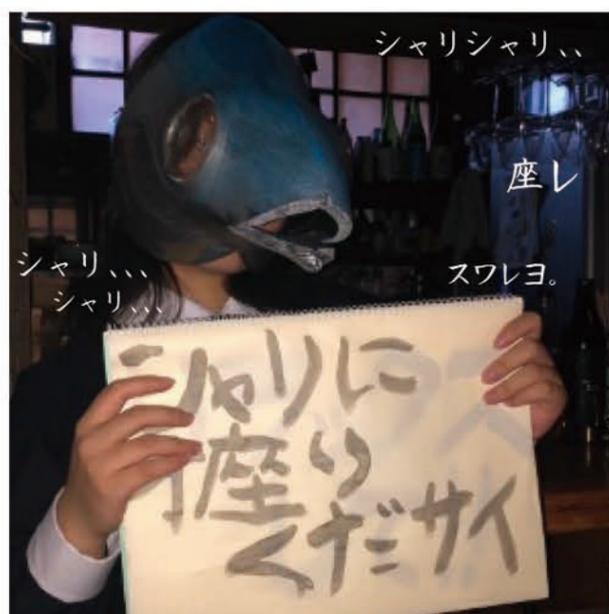
撫でると色が変わる、うろこの着物。





お客さんにご協力いただいた「いただきます」の映像に見られながら、お寿司になって食べられます。

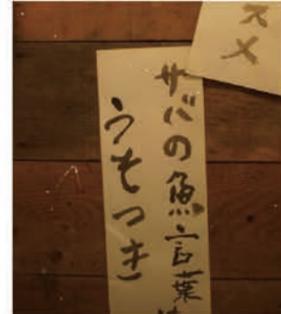
さあ、お寿司の時間ですよ。



シャリシャリ...
座レ
スワレヨ。

シャリに
握り
クダサイ

香水ヲ
フリカゲテ
クダサイ



壺ノ中ノクリームヲ、
スツカリ塗ッテ
クダサイ



↑*本番では、わさびクッションになりました。



「中トロ!」「ウニ!」「しゃけ!」「イクラ!」、...
寿司ネタを囁きながら群がる飢えたサバたち。



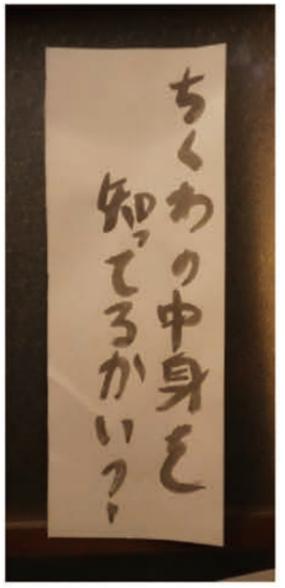
耳タブニモ
塗り
ヌシタカマ?



神戸市長さんにも体験していただきました! 「ごちそうサバでした!」



お店の名前は、「魔廻冥土」。某「呪〇廻戦」と、「東〇市リベンジャーズ」の影響で間違いありません。



出展作家さんとの交流も、濃いのが下町。



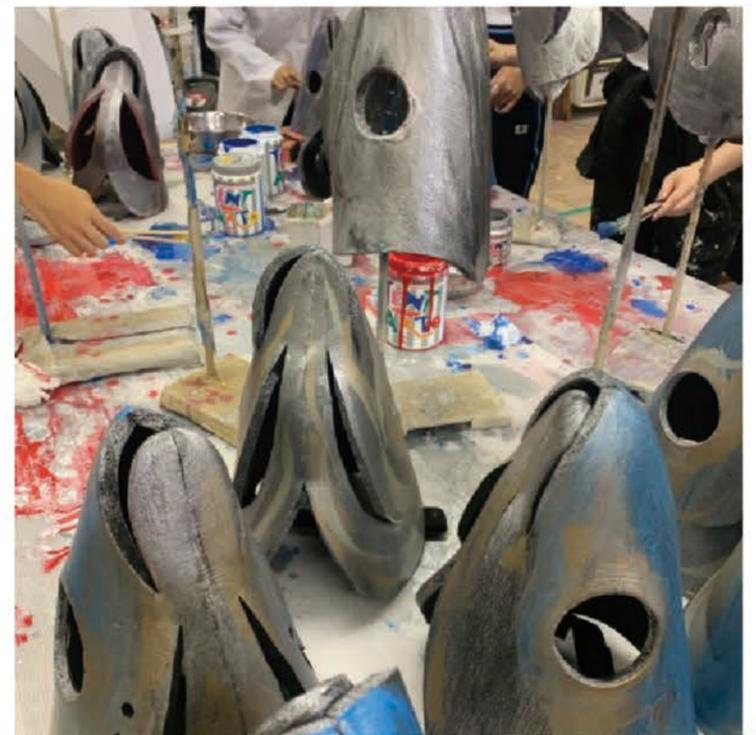
下敷きペコペコによる効果音サラウンド発動ッ！



「サバ」マスク製造中。内側には、魚言葉「嘘」を仕込んでいます。



ぺこぺこぺこぺこぺこぺこぺこぺこぺこぺこぺこぺこぺこ、ハッ！あぶないあぶない。





☞注文だらけ！お洒落な古民家リノベスペース「カフェバーサカヅキ」さんをお借りしています。偶然にもその昔、本当にお魚屋さんの家だったそう。マダイの魚言葉を借りれば、それは「宿命」！

下町の、魅力。



ご近所の子供たちとの交流。
これぞ下町芸術祭！



路地は遊び場！



路地の魅力を発見！



市場の中はシャッターワンダーランド。

長田の商店街に繰り出します！ 魚をかぶれ、下町へ出よう。



「斜め上に進め！」



shitamachi art festival

下町芸術祭

2023

☑体験直後にお客さんから出た言葉「想像の斜め上や！」を、松蔭美術部の活動モットーとして頂戴しました。